

令和7年10月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年10月分について、輸出は「科学光学機器」、「自動車の部分品」などが減少したものの、「原動機」、「家庭用電気機器」、「医薬品」などが増加したことから対前年同月比8.2%の増加となった。また、輸入は「有機化合物」「医薬品」などが減少したものの、「原動機」、「半導体等電子部品」、「電気計測機器」などが増加したことから、同7.7%の増加となった。

その結果、差引額は39億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,322億円	+8.2%	1,283億円	+7.7%	39億円	+29.2%
	3カ月連続の増加		29カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 原動機	94億円	+40.4%	輸入	増加品目	(1) 原動機	266億円	+29.0%	
		(2) 家庭用電気機器	44億円	+54.1%			(2) 半導体等電子部品	210億円	+23.2%	
		(3) 医薬品	14億円	+493.0%			(3) 電気計測機器	48億円	+71.3%	
	減少品目	(1) 科学光学機器	40億円	▲20.3%		減少品目	(1) 有機化合物	34億円	▲66.0%	
		(2) 自動車の部分品	33億円	▲19.7%			(2) 医薬品	39億円	▲55.3%	
		(3) ポンプ及び遠心分離機	9億円	▲39.0%			(3) 衣類及び同附属品	13億円	▲29.7%	
	主要地域 増減	アジア、EUが増加、アメリカは減少				主要地域 増減	アメリカ、アジアが増加、EUは減少			

（参考）ドルレートは、149.51円（前年同月比2.5%、3.64円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。